

みやの森通信



第7号
2020/10/22
発行:
Ponteとやま
編集長:
家森 謙

発達凸凹向けフリーペーパー

Ponteとやま(みやの森カフェ) 住所: 富山県砺波市宮森303 電話:0763-77-3733 メール:miyanomori.ponte@gmail.com

Ponteとやま

検索

Ponteとやま facebook

検索

Ponteとやま ツイッター

検索



通信のホームページ QRコード
[過去のアーカイブこちら]



facebook QRコード
[Ponte最新情報こちら]



ツイッター
QRコード

Kaoruがつぶやく



「しばらく見守りましょう」と言うと、

ママたちの多くが「え、何もしないってことですか?」「放っておくってことですか?」と半ば怒り気味に答える(*_*)『見守る』とは具体的にどうすることか。目をかけ気遣いはするけれど手は出さない、子どもがSOSを出したときには助け船を出すということになるだろうか。時には「何もしない」(積極的に介入しない)ことが最善という場合もあるだろう。へこんだり、悩んだりする子どもを目の前にすると、つい助けたくなるのは親の心情。でも、自己選択と決定を繰り返しながら、自分の人生を生きていく人に育つためには、「今」自分で考えチャレンジすることが大切な経験であり「必要な回り道」なのである。回り道の途中で、子ども本人が獲得するもの(こと)は思いの外大きい。(私も、いくつになっても寄り道や回り道を好む傾向あり)



～Ponteとやま 地域と専門性をつなぐ連続講座第5回～

発達凸凹とからだづくり 2面

[講師プロフィール] 富山大学人間発達科学部講師, 医学博士, 日本幼児体育学会認定指導員 資格PROFESSIONAL LEVEL。「わくわく」をコンセプトに、幼少児を対象として運動あそびを提唱。幼少児の健康課題を家庭や地域等の要因から検討し、研究で得た知見をもとに実践の場へ応用。現在、生活習慣病予防として『にじいろ体操』をYOUTUBEで配信中(2020年10月現在:QRコードこちら。『にじいろ体操』でも検索できます)→



講師
澤 聡美
さわ さとみ

～Ponteとやま連続講座第6回～

発達障がいの特性と可能性 思春期編 3面

揺れる・・・混乱する・・・といわれる「思春期」。発達に偏りや凸凹ある子どもたちの思春期に周りの大人はどう向き合いどんなメッセージを届けるか?ともに学び、支えあいましょう

[講師プロフィール&メッセージ] 富山大学人間発達部教授・医学博士(兼附属病院小児発達神経科 診察指導医), 小児科専門医, 小児神経専門医, てんかん専門指導医。重症心身障害やてんかんなどの身体疾患, 発達停滞, 発達障害といった心身機能に障害を持つ子どもたちに対して, 教育・医療・福祉がどのように連携し, どのような介入を行うことが[子どもたちの自立]を高めるのかを考えています

講師
宮 一志
みや かずし

10月・11月の予定ちょっと

- ★10月25日(日) 13時半～15時半: Ponteとやま連続講座「番外編」(ZOOMのみ)
堀田聡子(慶應義塾大学大学院教授)×Ponteリスタートメンバーのトークセッション。
面白いこと間違いなし!!
- ★11月3日(火) 10時～11時半...Ponteとやま連続講座第7回(カフェ、ZOOM同時開催予定)
講師はおなじみ樋端佑樹先生(信州大学)

※詳細は、メルマガ配信、FB、HPでご確認くださいね。



～Ponteとやま連続講座第5回～ 発達凸凹とからだづくり

講師：富山大学人間発達科学部講師 澤 聡美氏

2020年9月13日 10:00-11:30 みやの森カフェ+ZOOM配信

- ・人間誰でも8つの多様な知能がある(多重知能)。自分がどの知能に強みがあるか知る事が第一歩
 - ・動きがぎこちない、姿勢悪い、すぐ疲れる、いらいらする・・・ボディイメージの刺激足りてますか？
 - ・運動を通じ、五感含めた感覚器に刺激を与える。動作の習得には何度も小さな経験を繰り返し、その動作をフィードバックし、改善をつみ重ねる事が必要。
- 繰返し=継続にはやる気/意欲が重要。「わくわく」するから継続可



↑期間限定にじいろ体操公開中

Ponteとやま連続講座も中盤第5回。富山大学人間発達部講師の澤 聡美氏を講師に招き、お話をいただきました。できることを見つけ、ささやかでも部分点を取ろうとする講師の人柄/前向きさ/課題解決の引出しの多さを感じました(以下、話のポイント一部抜粋)

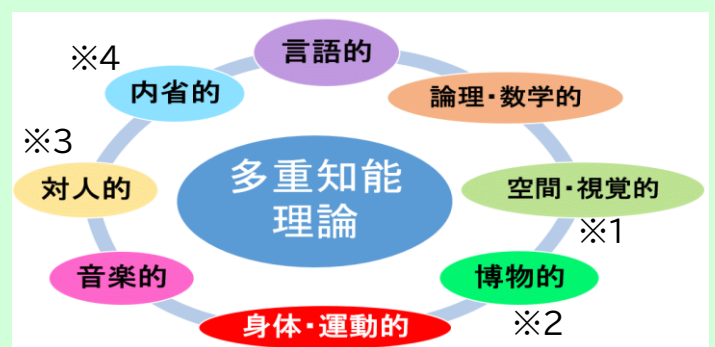


凸凹とは8種類の多様な知能

人は誰しも8種類の多様な知能(多重知能)を持つ。どの特徴(凸凹)に自らの強みがあるかを発見する

のが第一歩。例えば、1000m5分で全員走る事が課題なら、身体・運動知能を強みとする子は何度も苦も無く取り組めるが、多くの子どもは辛くて挫折する。でも、対人的知能を強みとする子は友達と一緒に何度も走ることでもやるき意欲を維持して乗り越えられる可能性あるし、内省的知能を強みとする子は一人黙々と取り組める環境あれば、やる気意欲を維持して乗り越えられるかも。論理・数学的知能を強みとする子は、1分間何mと目標を細分化し積み重ねて乗り越えられるかもしれない。同じ山(≒課題)でも、人によって頂上までの登り方やルートは違う。多重知能理論(右下図参照)はどんな登り方やルートが自分に適しているかを知る手がかりの一つになるだろう。そして、やる気意欲=わくわくがあるから山に登っていきける。

- ※1: 絵や図(3D含む)を描くことみることが好き。
空間認識やその認識を可視化できる
- ※2: 自然や動物、昆虫などが好き。物事や自然現象を認識し、理解したり分類したりできる
- ※3: 他人と一緒にやるのが好き(演劇、ゲームなども含む)。心にあるものを表現し、他人と理解する為に口頭や文字でコミュニケーションを取れる
- ※4: 自分の考えや感情、好み、利害などを理解し、コントロールできる
(参考: 有賀三夏「自分の強みを見つけよう」)

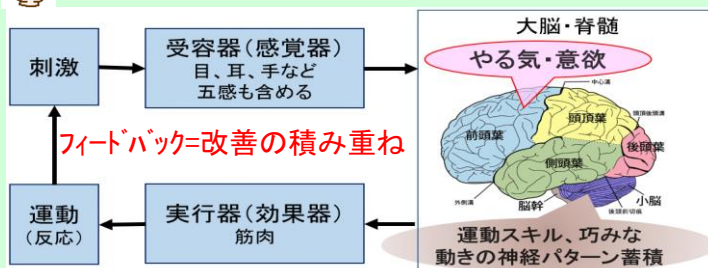


ボディイメージ

体をうまく扱うために必要な情報。一例として、皮膚からは振動や温度、筋肉からは力の入れ具合、三半規管(前庭感覚の一器官)からは頭の回転や加速度が脳に伝わる。発達が未熟だと、新しいことに取り組むことや選択肢を広げることが難しくなったり、情緒不安定につながることも。動きがぎこちない、姿勢が悪い、すぐ疲れる、いらいらする・・・ボディイメージの刺激足りてますか？運動通じ、ボディイメージを豊かにしましょう。



からだづくりには経験(失敗と成功)が大切



指体操やパーグー体操、にじいろ体操をなぜ実践しているか？それは、運動(反応)を通じ、五感含めた感覚器官に刺激を与え、運動で何度も経験を繰り返し、その動作をフィードバックし、改善していく積み重ねが重要だから。繰返し=継続にはやる気/意欲が必要。だから「わくわく」という話につながっていく。習得のコツは遊び心と凸凹(強み)を活かす事!

～Ponteとやま連続講座第6回～ 発達障がいの特徴と可能性 思春期編

講師：富山大学人間発達科学部教授 富山大学附属病院医師 宮 一志氏

2020年10月4日 10:00-11:30 みやの森カフェ+ZOOM配信



- ・発達障害を持つ子だから周りが特別なことをしなければいけないのではない。**思春期と発達障害が重なる事で、より注意を要し、乗り越えに時間を要し、より根気強さが要る**という話
- ・**思春期の問題と、発達障害の特性に起因して起こる二次障害(行動障害等)の問題は分けて考える方が(問題を)乗り越える方向へ向かいやすい**

Ponteとやま連続講座第6回。富山大学人間発達科学部教授 富山大学附属病院医師 宮 一志氏を招き、お話をいただきました。**定型発達の子でも難しい思春期。それに発達障がいと重なる子と向き合う時、周りにはどんな心構えが必要なのか**をお話しくださりました(以下、話のポイント一部抜粋)



”軽度”発達障害児の思春期問題

”軽度※”発達障害児の小学校高学年～中学校時期は、周囲から発見されにくい、理解されにくいことから、厳しい指導や放置などの不適切な関わりな影響もあり、問題行動は増加傾向。そんな中、早期から支援受けていても、**発達障害と誰しもある思春期特有の問題が重なり、さまざまな情緒・行動上の問題が出現しやすくなる。**

※軽度とは、知能検査の結果などが”軽度”の偏りという意味で、社会生活上の問題が軽度というわけではありません



講座後、宮先生と話すタケシくん



思春期とは(おさらい)



ホルモンバランス変化、成長による急激な体変化、起立性調節障害(OD:朝起きれない、倦怠感、食欲不振など)により、常に不安イライラ、そして、大人と対等になりたい気持ちと、うまくいかず親に依存したい気持ちの間で揺れ動く葛藤が中学校～高校の時期を中心に続く。**自立の為、このやじろべえな揺れ動く繰返しを順調にこなすのが重要。こなせない、愛着形成の問題や、常に不安で挑戦するエネルギー減少に繋がる事も**



思春期+発達障害=問題の波が増幅

発達障害だから、思春期に何か特別なことをするわけではない。ただし、定型発達児と比べ、**やじろべえの揺れ動きの波が大きかったり、波長が長かったり短かったり、突然波が来やすかったり、波が起きる時期が長く続いたり・・・より注意を払う必要があり、難しい時期も長く、腹立つことも増える。自立へ向け、やじろべえな揺れ動きを繰返してもらう為、言うは易しだが長く根気強い周りの支援が必要。**



講師近影

(以下、思春期+発達障害に起因する二次障害(行動障害等)の課題一例)

- ・自分で何したいか考え、行動する力が未熟→エネルギーを持て余し、表現うまくできない→破壊的行動とりやすい
- ・母(保護者)子交流蓄積不十分→同世代との交流持つのが非常に困難→さまざまな葛藤から逃れるため、ごく限られた興味に没頭
- ・母(保護者)との依存関係が幼児期に不十分→依存態度いっそう強まる
- ・自他の違いを認識する力が弱く、他人と比較しながら自分のアイデンティティを獲得するのが困難→短絡的に良し悪し関係なく自分にとって好ましいモデルを見出し取り入れる(悪い一例:不良に憧れ、一緒に行動したり)

ただ、思春期特有の問題は期間限定の問題であって、発達障害のように一生つきあっていく長期的な問題とは時間軸も異なるし、相互に関係するとはいえ**問題の種類も異なるので対処手段が異なる場合もある。「思春期」「発達障害起因の二次障害」の問題各々に対し、アプローチしていくという考え方も必要**

一にも二にも三にも朝乃山・大相撲11月場所展望 byタケシ



11月場所番付予想

白鵬	13勝2敗	横綱	鶴竜	11勝4敗
貴景勝	12勝3敗	大関	朝乃山	11勝4敗
正代	11勝4敗	大関		
御嶽海	11勝4敗	関脇	隆の勝	9勝6敗
照ノ富士	9勝6敗	小結	北勝富士	7勝8敗
高安	6勝9敗	前頭1	霧馬山	8勝7敗
若隆景	4勝11敗	前頭2	阿武咲	10勝5敗
大栄翔	8勝7敗	前頭3	隠岐の海	5勝10敗
輝	4勝11敗	前頭4	翔猿	6勝9敗
琴勝峰	7勝8敗	前頭5	遠藤	9勝6敗

【先場所のおさらいと今場所展望】

- ・先場所は正代が優勝して大関に昇進した。また、新入幕の翔猿が躍進した。
- ・今場所は休場明けした白鵬と鶴竜を軸に優勝争いが繰り広げられるだろう。
- ・翔猿のさらなる躍進に期待がかかるが、上位陣に跳ね返えされるだろう。

【朝乃山の先場所おさらいと今場所展望】



両横綱不在の中、幕内最高位、そして看板力士としての重圧が掛かり、先場所は力強い立ち合いや四つ相撲が取れなかった。今場所は力強さが戻ってくるだろう。緊張感や重圧との付き合い方にも慣れ、まわしを取らずに攻め急ぐこともなく落ちついて四つ相撲をとることができると見る。立ち会いについても、元々腰は高いが足腰自体は強いので、落ち着けば足は崩れず、力強い立ち合いが可能（裏を返せば、落ち着き持てないと立ち合いに弱さが出る）

【今場所注目の朝乃山取り組み:朝乃山 対 隠岐の海】



今場所の朝乃山に期待持てるかどうかが見えてくる一戦。
朝乃山は攻め急いだ時に相手に体をうまく入れ替えられて投げられる時がある。
隠岐の海は体が柔らかいのと懐が深いので、土俵際で詰めを甘くすると逆転される可能性がある。急がず、まわしをとり、攻め切れるか。
攻め切れればその先の優勝争い、そして、賜杯も見えてくる

来世に賭ける男の映画評 ～シザーハンス～

シザーハンス 監督ティムバートン ☆7 (☆1～☆10)

僕の手は、世の中の全ての物を触った手ですし
僕の手は、触ったら猫からお前の手冷たいわって、
怒られたことある手なんですがこのシザーハンスの
主人公の手は、ハサミなんですよね。

物語前半は、その個性を生かし人気者になるけど、後半は悪党のように嫌われます。普通物語として前半嫌われ、後半ヒーローになるのが綺麗な形ですが、逆なのが良し、主人公が黒のイメージなので、周りの人の服装や街の家をどれも派手な色にしたのも良い。その方がより主人公を浮いた存在に見せられるのが狙いだと思います。しかし、主人公は周りから浮いてることのダメージより理解してもらえない方がツラかったと予想します。

浮いてる恥ずかしさは、数だけなので10人中1人ハサミ男なので浮きますが、もし10人中9人、手がハサミだったら今度はハサミじゃない1人が色々言われます。それくらい適当なことで、それより理解者がいない方が、不安ですし迷うので自分との闘いだからキツイと思います。

僕は、子供の頃から「本当にダメなんか？」ばかり思っていました。

「会話になってない」よく言われます。例えば、初めまして～です、と言われたら初めまして～です、と自分も返しますよね。そこを、「また、それ買ったの？」って返すといや初めましてなんやけどってことで、は？ってなりしまいには、あいつ会話できないコミュ症やって言われるわけです。それが寂しく、一色しかないことが嫌なんです。会話になってないって言うけど初めましてに「またそれ買った？」で返すという会話をしただけで、僕からすると何が問題なのかわからない・・・。当たり前やろと言うけど「ほんとにダメなんか」と思ってしまう。

一緒に飯行って「この店ウマいな？」に対して、10分黙ってから答える。

これも相手にされませんよね、なにコイツってなります。「そんなことされたら相手がストレスだろ気持ち考えろ。」これも点で見ればそうですが、予想通りのコミュニケーションだけだと、その瞬間平和に収まって点としてはいいけど、線になって花咲かないんですよね。面倒と捨てるか想像するかの違いで僕これされたら嬉しいです。そんな10分溜めてから「うん、旨い」っていうと、後々記憶に残るのはそっちで、帰り運転しながらアイツあの十分黙ってたけど何考えてたんやろ、ずっと斜め下見てたな……。とかその先があるから別にいいと思う。これも10分溜めてから答えるという会話なだけで、あいつコミュ症じゃないんですよ、10分溜めるという会話をしただけです

でもシザーハンスなあ・・・最後のアレがなあ・・・そっちとあっち逆やろ・・・。



来世に賭ける男へ今世何か面白い物を作るチャンスを与えてみようと思う方、
Ponteとやまのメールへご連絡いただければ幸いです→miyanomori.ponte@gmail.com

タカチ動物園特別編 実録 僕だけの失敗（上）

～おまえ、かっこいいんだよ。だから・・・～

独自の世界観で、多くかどうかは定かでないが、評価を高め始めているタカチ動物園。はたしてその裏側とは・・・冷静にどうかしてる、実録 僕だけの失敗(全三回)その1。

2019年9月29日（日）15時30分

小矢部市内の山間部にニホントカゲを捕獲に行く。生き物は水辺で多く捕獲することができる。小川を目指した。捕獲は視覚だけに頼るものではない。音も重要だ。地の利があり、相手より先に視認することができたなら捕獲の確率はグッと高まる。“ガサゴソッ！”どうやら僕の見立ては正しかったようだ。



「マムシだ！」落ち葉の上にいるマムシはカムフラージュ効果により見つけるのは困難だ。しかし音で見つけたので問題はない。手にしていたスコップでマムシの頭を押え込みマムシを手にした。しかし次の瞬間、マムシの頭がキュッと曲がり、プスッと指先を咬まれた。「アッ!!」と声を上げ、マムシを放してしまった。



人差し指の先から血が出ている。傷は一ヶ所だから、片方の牙だけが刺さったのだ。チョンと軽く咬まれただけだったので、大事には至らないと考えていた。よく咬まれると、『烧けるような痛み』があると聞く。だが興奮のあまりそんな感覚はなかった。傷口に口を付けて吸い出すのは、

口の中に傷があるとよくないというが取えてやった。体内に毒は入ったのだろうか？

10分後指が腫れる。これはマズイことになったぞ！この時点で僕は危険と判断した。ピンチを切り抜けるために脳がフル回転を始めた。日曜日だから救急をしている病院はどこだ？幸い電波が通じたのであらかじめ電話ができた。

僕「山でマムシに咬まれました。」

相手「それは本当にマムシですか？」

僕「指が腫れているから確実にマムシです！」

僕を誰だと思っている？見間違うわけがない！とは言えない（涙）

相手「救急車は必要ですか？」

僕「自力で病院に行けます。」

救急車なんぞ呼んだら末代までの恥だ。患部をスマホの充電ケーブルで縛った。縛りすぎは壊死するときいていたので10分毎に緩めた（中編へ続く）

（注：口で吸い出すのは誤り。流水で洗い流すことが正しい。また、応急処置は気休めに過ぎず、医療機関での早期の受診が必要となる）

本当の毒虺に愛は無かった・・・次回中編：攻防！48時間 お楽しみに

救急車を呼ぶことは恥ではありません。必要な時はちゃんと呼びましょう

広告募集。ご用命はこちらへ→miyanomori.ponte@gmail.com

娘が言う。「みやの森通信、やっぱりわからない。誰に伝えようとしているの？」

カフェな日常

近頃若い男子たちがカフェに増殖中！

声（態度）のでかい人、小さい人、それぞれがなんとなく自然体でそこに居て、けっこうバランスがとれているのが面白い・・・会話は微妙にかみ合わないときもあるんだけど。しかーし、どういうわけか、筋トレやるよーという一声に皆集合します。そして、水野コーチのきびしい声にも応えてがんばります。



一方、みやの森スイーツがすてきに進化しています。毎回違う気まぐれパフェ。これはすてきないただきもので出来上がる。恭子さんのふるさとからスモモと林檎、ダルクのボーイさんからぶどう、ゆかりんさんから栗・・・季節感たっぷりです。他にもるりちゃんのチーズケーキやにんじんケーキ、ゆかりん工房のクロッケン、チュイール、ロールケーキ・・・めじろおしの幸せスイーツです。



木工なら大小問わず→



tatacraft

検索

目 誰に対して書いている？ ▼書く事を認められ、こういう原稿を書かせて頂ける事は本当に幸せな事だ。ただ、認めて頂けるのはごく一部。多数の酷評を覚悟する必要があるとも感じている。娘もそんな一人だ。でも、誰に対して書いてるかはそれなりに明確だ▼**カフェの近況については、主にみやの森カフェになかなか来られない人向け。**少しでもカフェの空気を伝えたいという思いだ。勿論、初見の方に興味もってもらふ目的も有▼**映画評や大相撲評、タカチ動物園系の記事については、さらに上のレベルへとステップアップするチャンス(記事書いた人へ)与えられる人に対して。**映画評であれば、もっと大勢の人に影響を与える機会を持っている人へつながってもらいたいという意図だ▼**連続講座やKaoruがつぶやくについては、もちろん発達凸凹当事者向け。**生きづらさを抱える現在進行形の方々へ学び／気づき／情報を伝えるのが主目的▼そして、**目。これは読んでくれた方全てへ向けて。**目線が変われば物の見え方が変わり、見え方変われば考えが変わり、考え変われば行動が変わり、行動変われば未来が変わるから▼しかし・・・文字は多い。それでもそれが読者に必要と書き続ける俺・・・